

「品川駅 えきまちガイドライン」(案) について

1. 策定の背景と目的

東京都は、“これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川”を将来像に掲げた「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン 2020」を令和 2（2020）年に公表しました。

品川駅周辺は、「日本の玄関口」に相応しい空間・景観形成を行うことが求められるため、複数の多様な事業者による計画・事業の調整を行うための指針として「品川駅 えきまちガイドライン」を策定します。

2. 主な内容

【コンセプト】

自然、歴史を継承し、それぞれの個性を持った西口、東口、北口を新たに再生させていくとともに、3つのまちを「えきまち」一体として統合していくことにより、文化、技術などの革新を創出し続け、世界から人々を引きよせ、日本の成長を牽引する「国際交流拠点・品川」を形成します。



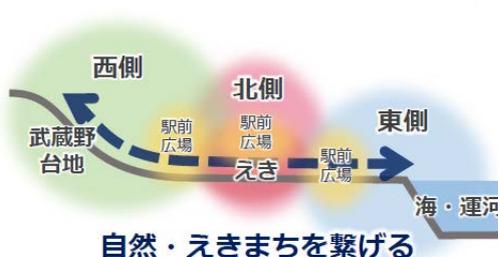
【3つのポリシー】

コンセプトを実現するための以下の3点をポリシー（まちづくりの方向性）とします。

①それぞれのまちの履歴を継承し、革新を生み発信し続ける



②広場やデッキ等を活かし、自然とえきまちを繋げる



③多様で立体的な交通モード間をシームレスに繋ぐ



3. 今後のスケジュール

- ・2021年1月29日（金）～2月27日（土） : パブリックコメント
- ・2021年3月末 : 公表予定